

=====

軍学共同反対連絡会 ニュース 2016年 2月号

=====

軍学共同反対アピール署名の会 no^military-research@mbr.nifty.com (編集担当 酒匂・浜田)

軍事研究反対の動きに連帯広がる

目次

- 1 NAJAT 発足集会で池内さんが講演、浜田さんが挨拶
- 2 軍学共同反対アピール署名の取りまとめ進む
- 3 シンポジウム「軍学共同を考える」(3月19日 明治大学)
- 4 雑誌「経済」が軍学共同問題の特集

1. NAJAT 発足集会で池内さん講演、浜田さんが挨拶

武器輸出三原則の撤廃、集団的自衛権の行使容認、戦争法(平和安全法、安保関法)採決強行、と日本の軍事化が確実に進行しています。それに対抗する市民運動の輪も広がっています。昨年12月17日に武器輸出反対ネットワーク(Network Against Japan Arms Trade)が発足しました。

2月7日東京王子の北とぴあにて、発足集会が催されました。池内了さん(名古屋大学名誉教授)が問題提起となる講演を行いました。また軍学共同反対アピール署名の会を代表して浜田盛久さん(海洋研究開発機構)が挨拶を行いました。

会場はプラネタリウムのような半球形で、新鮮でした。市民が222名集まりました。会場は満席。階段を椅子代わりにする人も出ました。



池内さんの講演「科学研究と軍事」

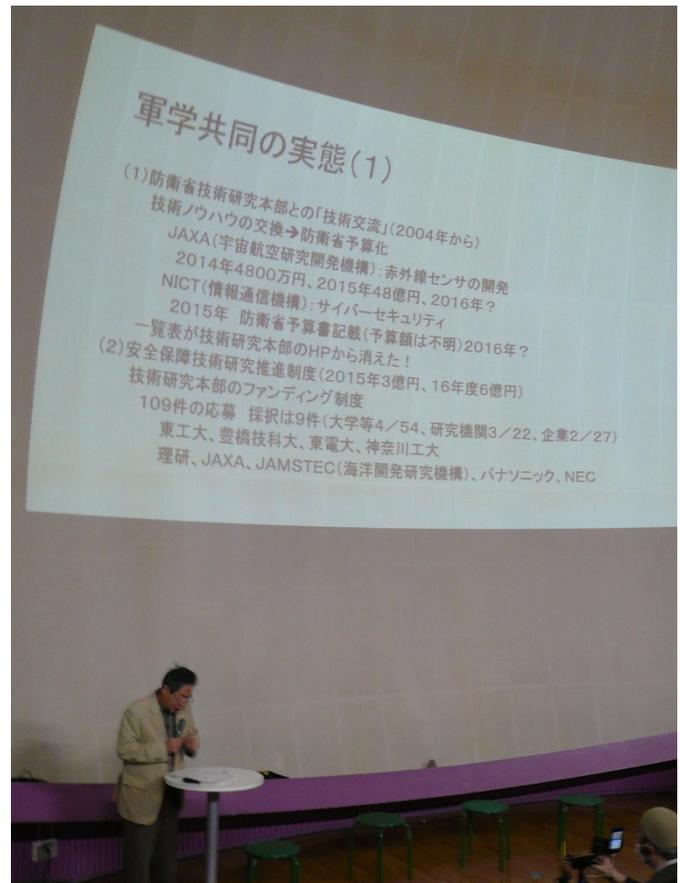
池内さんの講演の主な内容をご報告いたします。

<情報隠蔽が進行中>

平成 26 年度 27 年度と、JAXA および NICT と防衛省との共同研究が拡大しているが、平成 28 年度予算案一覧からそれらの項目が見えなくなった。防衛省技術研究本部から大学・研究所との共同研究一覧が削除されている。防衛省の情報隠しが始まっている。

<軍学共同の実態>

- ① 安全保障技術研究推進制度という基金の一種がすでに始まっている。109 件の応募から 9 件が採択されている。防衛省は、軍事と学問との結びつき「軍学共同」を強めようとしている。
- ② 大学教員が防衛省研究所の外部評価委員・審査委員として、毎年十数名ほどが協力している。
- ③ 米軍の「薄気味悪い」資金を利用している大学教員は実は以前からいた。
DARPA コンテストや迂回援助など、軍もあの手この手を使っている。



<用意される言い訳>

- ① 本心では協力したくない研究者のほうが、まだ圧倒的に多い。
- ② 軍関係組織は民生利用可能な研究を許容して心理的ハードルを下げている。
- ③ 防衛のためになるのだから軍事でないという言い訳を述べる学者もいる。

<財界からの要請>

防衛計画の大綱、防衛装備移転三原則、第三期宇宙基本計画、防衛装備庁の発足は、経団連の提言に呼応する形でなされている。

以上の報告を踏まえて研究者の倫理が問われていることを強調しました。

軍学共同反対アピール署名の会を代表して浜田さんが挨拶

武器輸出反対ネットワーク (NAJAT) に連帯する団体として、軍学共同反対アピール署名の会、NGO 非戦ネット、安保関連法に反対するママの会、SEALDs の挨拶が行われました。軍学共同反対アピール署名の会からは浜田盛久さんが出席しました。3 分ほどの挨拶で

- 平和憲法の理念を守ろう
- 軍事目的のための科学研究を行わないとしてきた学术界を守りたい
- 科学者以外の方々と連携したい
- 署名は各大学に届ける計画。安全保障技術研究推進制度にゆれる大学に国民の声を届けよう

と述べました。NAJAT 発足集会の参加者からも署名が集まりました。また署名用紙を持ち帰り、周囲の人たちに協力を呼びかけていただく方もあり、この問題に関心を寄せる市民との連帯が広がりました。



NAJAT の今後の予定

武器輸出に反対するためにデモなどの抗議行動、講演会、政策提言活動を行うとのことです。また軍需産業に乗り出した企業に対して「死の商人にならないで」との声を届けようと提案しています。市民運動を続けてこられた方の力強さを感じました。写真で捉えられないほどです。



① 三菱電機

空対空ミサイル「ミーティア」の日英共同技術研究に参加しています。

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3

② 川崎重工

オーストラリアの潜水艦受注に参加しています。 〒105-8315 東京都港区海岸 1-14-5

③ 富士通

イージス艦用表示装置の部品をアメリカに輸出することを決めました。

〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中 4-1-1

④ 東芝

誘導機器、レーダー、指揮統制システムなどを防衛省に納入しているが、グローバル化への積極的展開を図ると発表しています。 〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1

NAJAT 設立集会の詳細はHP 参照 <https://najat2016.wordpress.com/>

軍学共同反対と武器輸出反対

軍産学共同体の成立を阻むため、今後も連帯して活動できそうです。

2. 軍学共同反対アピール署名の取りまとめ進む

軍学共同反対アピール署名の会による署名が 1671 筆集まりました。来年度以降も安全保障技術研究推進制度に基づく公募など、軍と学を結びつける圧力が強まることが予想されるため、署名を一旦集計し、各大学の学長に声を届けることとなりました。署名に合わせてコメントも多く寄せられており、集計したものは 96 ページに及びます。軍学共同反対要請書(案)としてまとめ、700 部ほど印刷し、各大学に送付する計画を軍学共同反対アピール署名の会が立てています。

寄せられたコメントは多岐にわたりますが、次のような内容が多く目に留まります

〈戦争できる国づくりを拒否したいという思い〉

- 先の大戦の反省を忘れないでほしい
- 私たちを守ってきた憲法九条の精神を忘れないで
- 安倍政権による「戦争する国」作りが怖い
- あらゆる分野から戦争 NO の声をあげていこう

〈学問の自由、言論の自由を守りたいという思い〉

- 大学の自治や学問研究の自由が奪われていくのを止めよう
- 学校教育法の改正とともに大学の自治を脅かすもの
- 人文系学部への廃止圧力と軌を一にするもの
- 大学が軍に協力するようになれば、言論の自由も脅かされることになるだろう
- 特定秘密保護法とリンクしそうで怖い

〈平和のための学問〉

- 戦争目的に使われ大勢の人が死ぬことに罪悪感は無いのか
- 科学技術の発展は平和のためであってほしい
- 自然環境の維持こそ本当の安全保障
- 純粋な科学の追及を望む

署名で集まった声に全国の大学の学長が耳を傾け、戦争協力拒否への決意を固めることを望みます。

3. シンポジウム「軍学共同を考える」

「九条科学者の会」は、3月19日に軍学共同をテーマにシンポジウムを開催いたします。いま研究・教育の現場で何が起きているのか、研究者がいま何をすべきか、憲法9条を持つ日本の大学や学問はどうあるべきなのか、現状を報告し、課題を参加者の皆さんと一緒に考えます。ぜひ、お越しください。

- 第1報告：浜田盛久氏（海洋研究開発機構研究員）「急進展する軍学共同」
- 第2報告：赤井純治氏（新潟大学名誉教授）「軍学共同—新潟大や海外の事例から」
- 第3報告：井原 聰氏（東北大学名誉教授）「軍学共同をめぐる政策動向」
- 第4報告：西川純子氏（獨協大学名誉教授）「軍産複合体と軍事技術開発について」

明治大学駿河台学キャンパス リバティタワー9階1093番教室
13:30開場／14:00開会 資料代500円

主催：九条科学者の会 <http://www.9-jo-kagaku.jp/>
共催：明治大学教職員組合・安保法に反対するオール明治の会

4. 雑誌「経済」が軍学共同を特集

新日本出版社の雑誌『経済』3月号が、軍学共同について特集号を組んでいます。ぜひ、書店などでお買い求め下さい。定価1030円（本体954円）です。

掲載論文

- 池内了「安倍政権への対抗と大学人」
- 西川純子「軍産複合体について」
- 赤井純治「急進展する軍学共同 それとの闘い」
- 阿部知則「防衛装備庁の発足」

- 小滝豊美「貧する研究機関」
- 浜田盛久・多羅尾光徳「宇宙開発と軍事利用」
- 小金澤鋼一「ロボット兵器」